

みなとみらい21線車両留置場整備事業 及びこれに伴う附帯事業

説明会

2024年3月18日(月) 19時00分

KKRポートヒル横浜 4階 ラ・メール

横浜高速鉄道株式会社

説明内容

- 1 説明会の趣旨
- 2 事業の目的
- 3 事業の内容
- 4 工事の状況
- 5 今後の予定

1 説明会の趣旨

説明会の目的

○みなとみらい21線車両留置場整備において、区分地上権設定を速やかに完了させ、事業を確実に実施していくために、事業認定手続きを行います。

○本日の説明会は、事業認定申請のため、土地収用法第15条の14の規定に基づき、事業の目的及び内容について説明するものです。

【参考～土地収用法（抜粋）～】

（事業の説明）

第15条の14

起業者は、事業の認定を受けようとするときは、あらかじめ、国土交通省令で定める説明会の開催その他の措置を講じて、事業の目的及び内容について、当該事業の認定について利害関係を有する者に説明しなければならない。

2 事業の目的

事業の目的

- 鉄道事業者として、安定・安全輸送の確保のため、車両留置場が必要
- 現在は相互直通運転先の車庫の一部を借地しているが、継続使用が困難であるため、早期に新たな車両の留置場所の整備が必要

【車両留置場】

車両留置場とは、夜間等に電車を留め置くための施設です。

2 事業の目的

事業の効果

○車両留置機能強化

10両編成の電車を4本留置できるようになります。

○遅延拡大防止および障害時の早期ダイヤ回復

車両が故障した際、車両留置場に引き上げることで、より駅に車両が進入できるため、運転整理の幅が広がり定時運行の確保、早期ダイヤ回復が期待されます。

○利便性向上および輸送力強化

終点駅より先に車両留置場ができることで、速度を落とすことなく駅に進入できるため、所要時分の短縮や、車両留置場を使った柔軟なダイヤ設定等が可能となります。

3 事業の内容

事業の概要

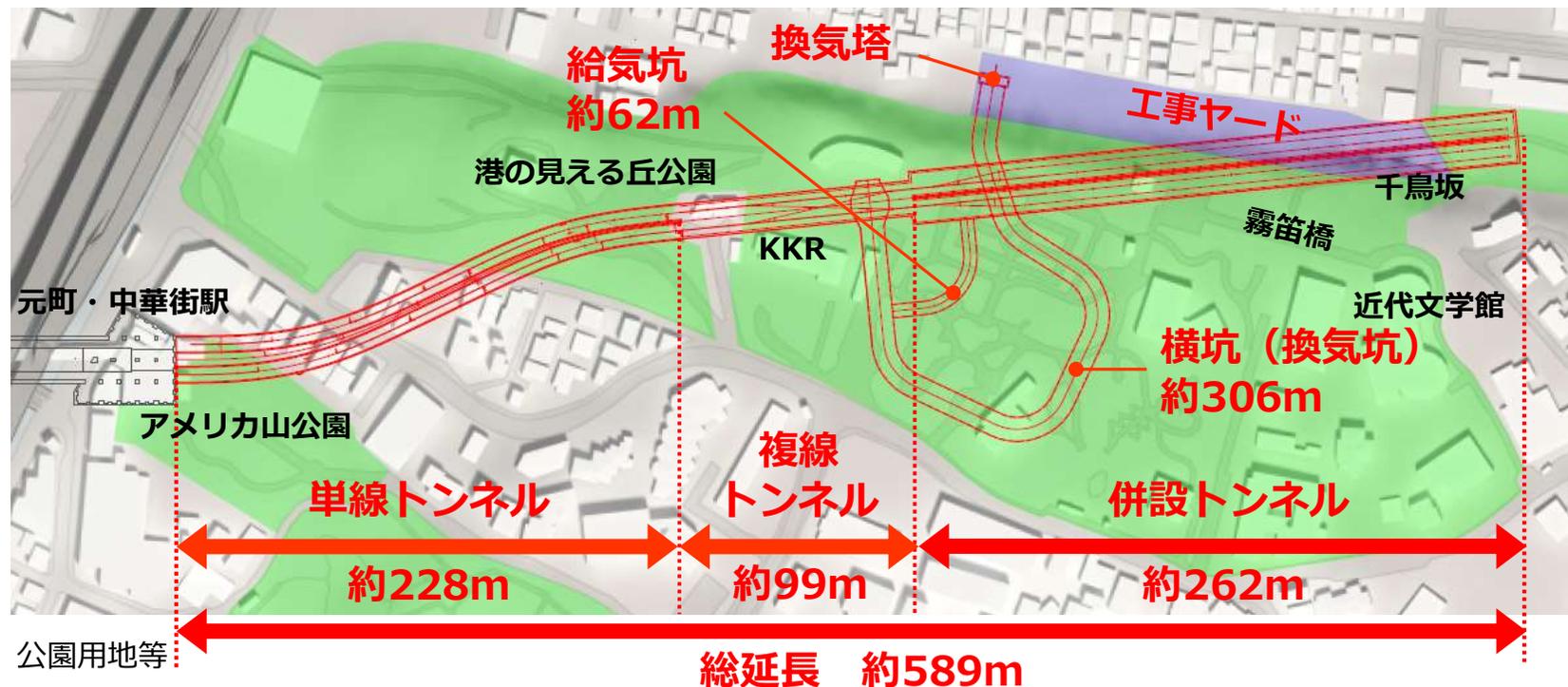
事業の種類 : みなとみらい21線車両留置場整備事業
及びこれに伴う附帯事業
起業者の名称 : 神奈川県横浜市中区元町一丁目11番地
及び住所 横浜高速鉄道株式会社
代表取締役社長 森 秀毅
起業地の所在 : 神奈川県横浜市中区元町一丁目地内
山手町地内、新山下一丁目地内
新山下二丁目地内



3 事業の内容

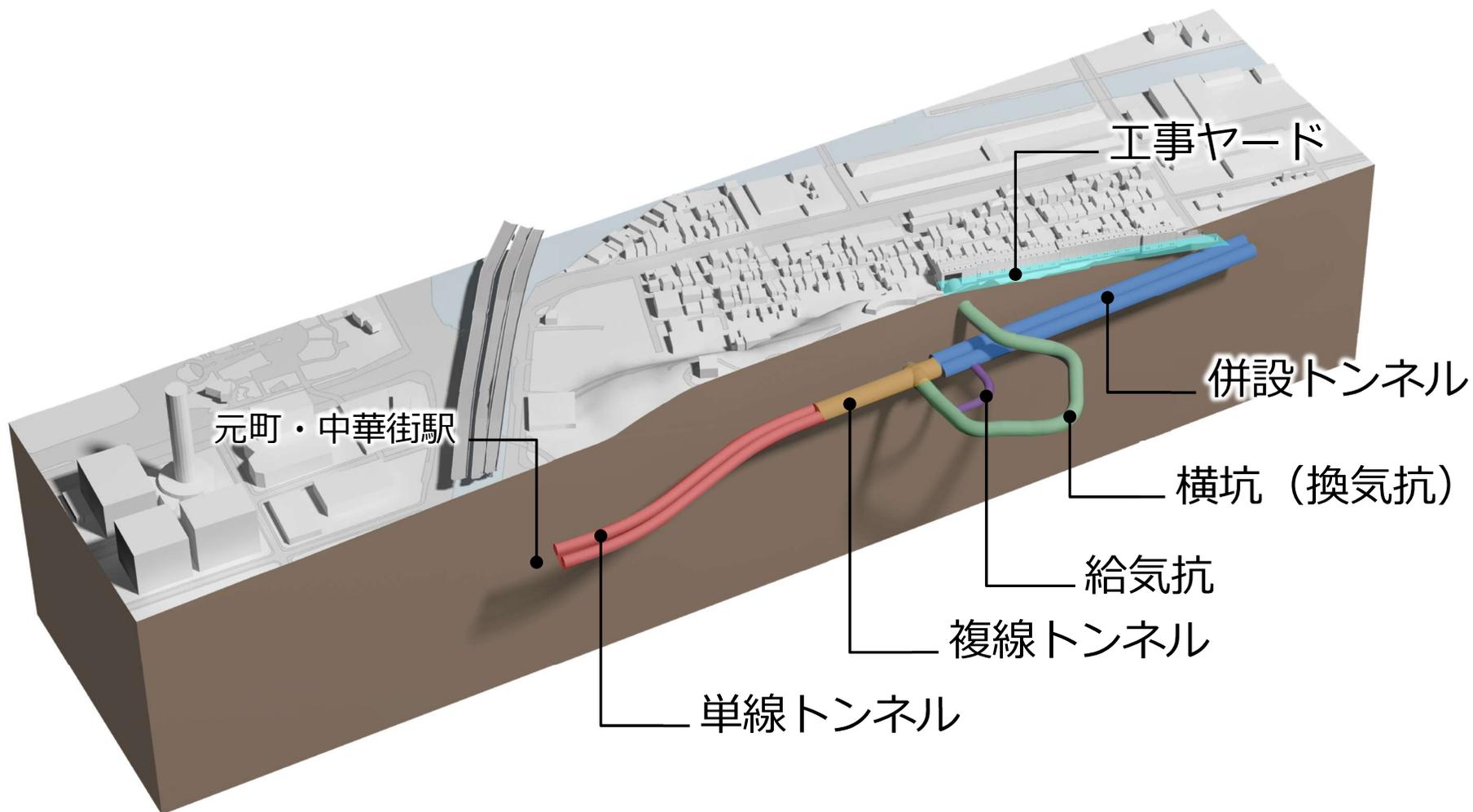
事業計画

- ・ 港の見える丘公園下の緑地に工事ヤードの整備、防音ハウス等の構築
- ・ 大部分は港の見える丘公園の地下を利用した、単線・複線・併設トンネルで構成する総延長約589mの車両留置場の構築
- ・ 港の見える丘公園の地下及び緑地に給気坑、横坑（換気坑）、換気塔等の施設を構築



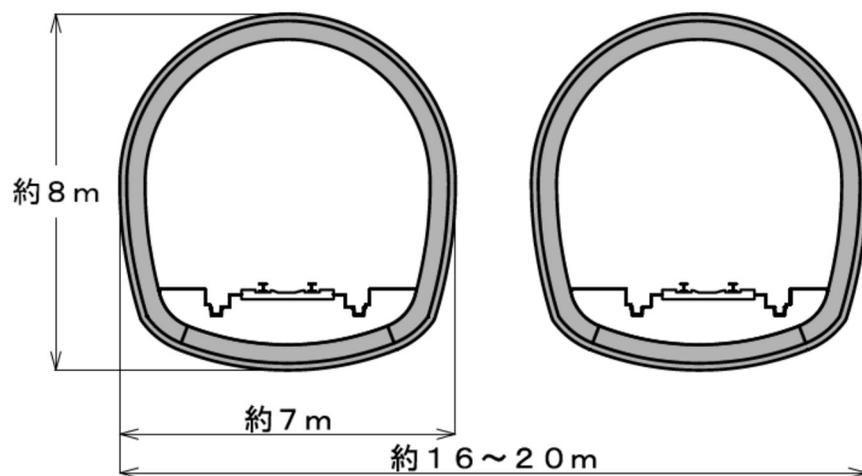
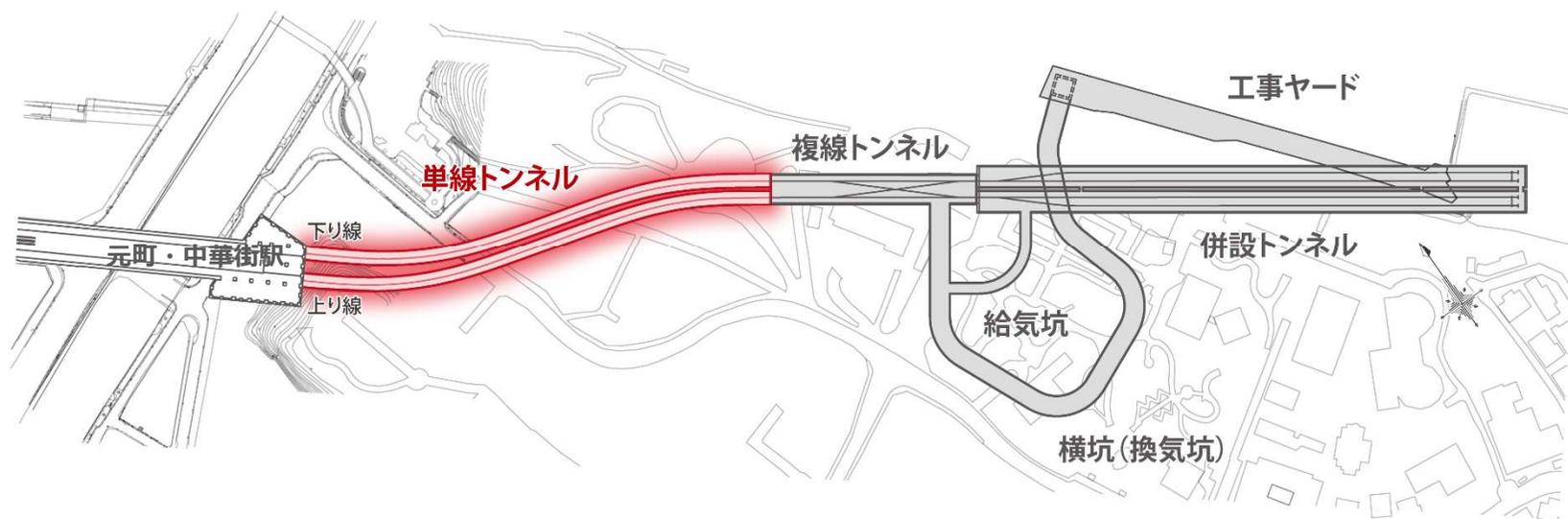
3 事業の内容

トンネル全体立体イメージ



3 事業の内容

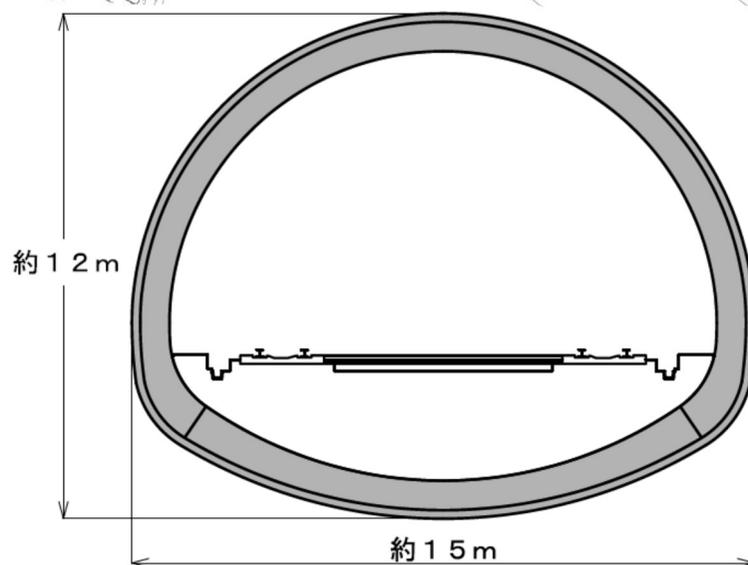
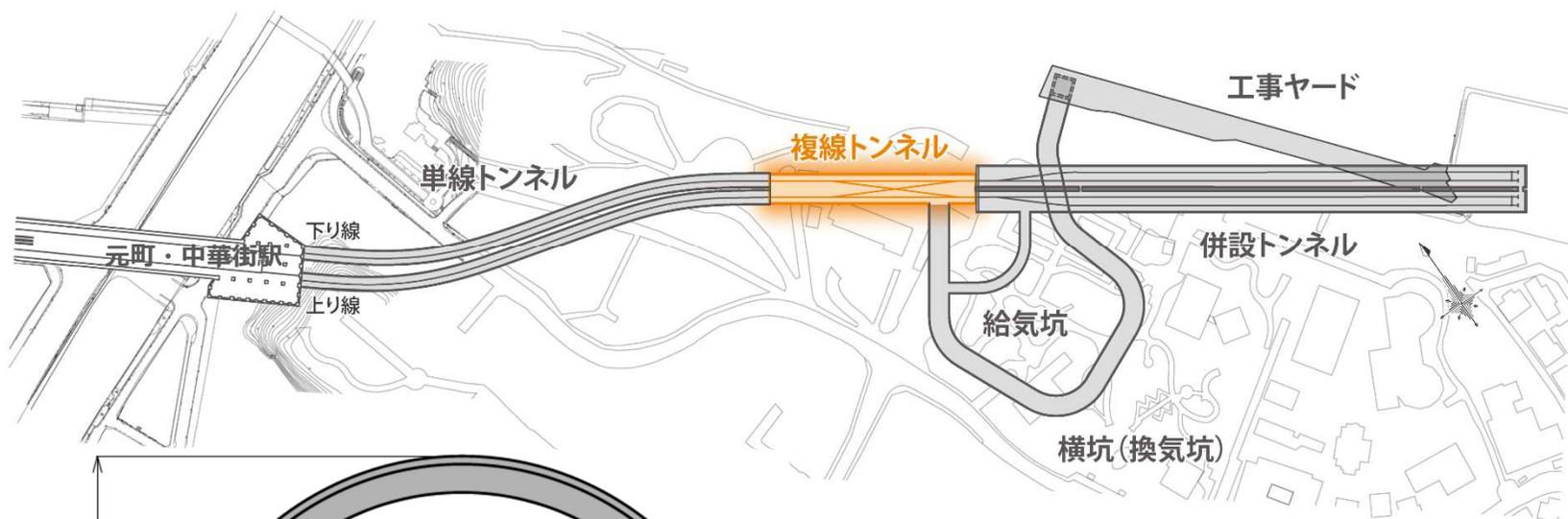
単線トンネルイメージ



~単線トンネル~
幅約7m×高さ約8m

3 事業の内容

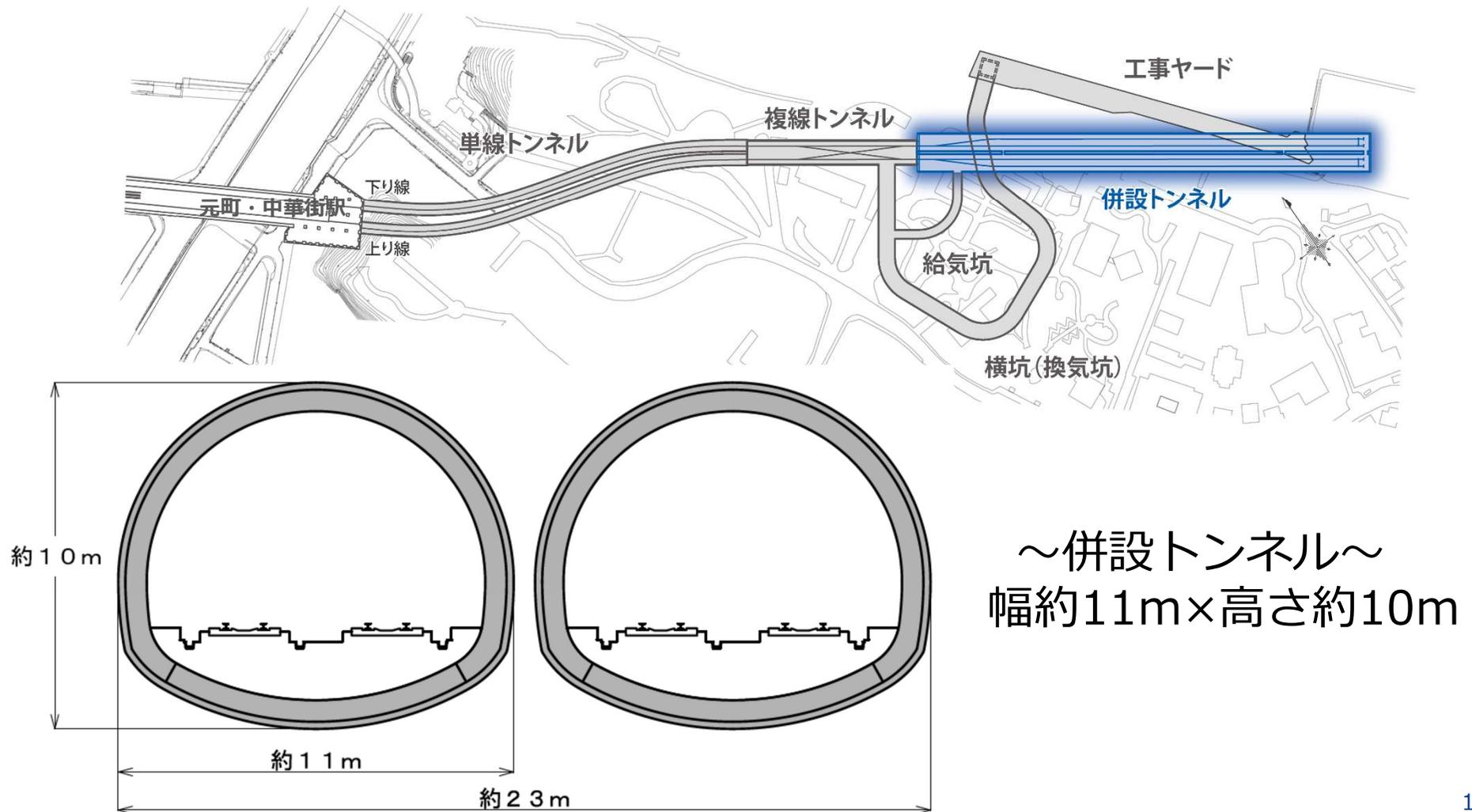
複線トンネルイメージ



～複線トンネル～
幅約15m×高さ約12m

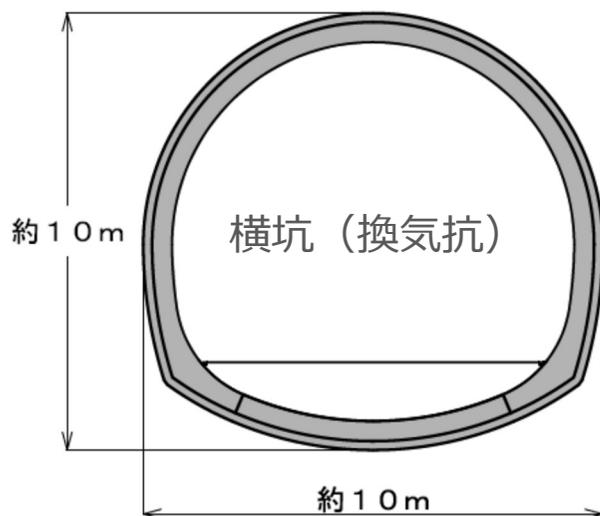
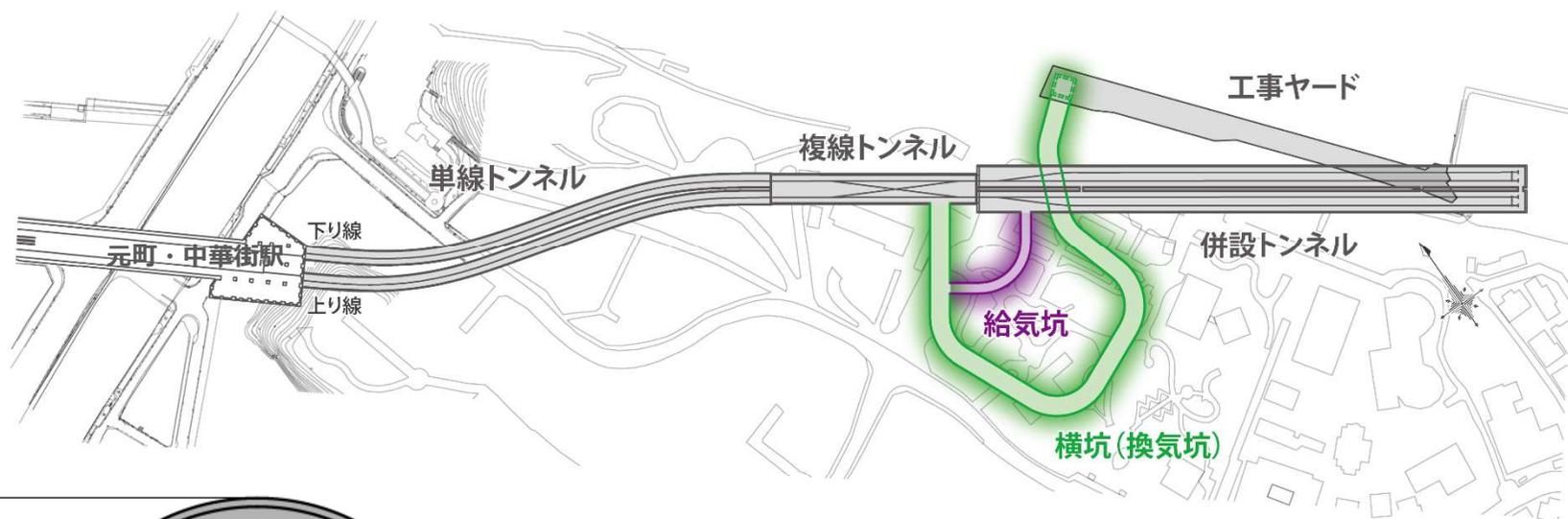
3 事業の内容

併設トンネルイメージ



3 事業の内容

横坑(換気坑)・給気坑トンネルイメージ

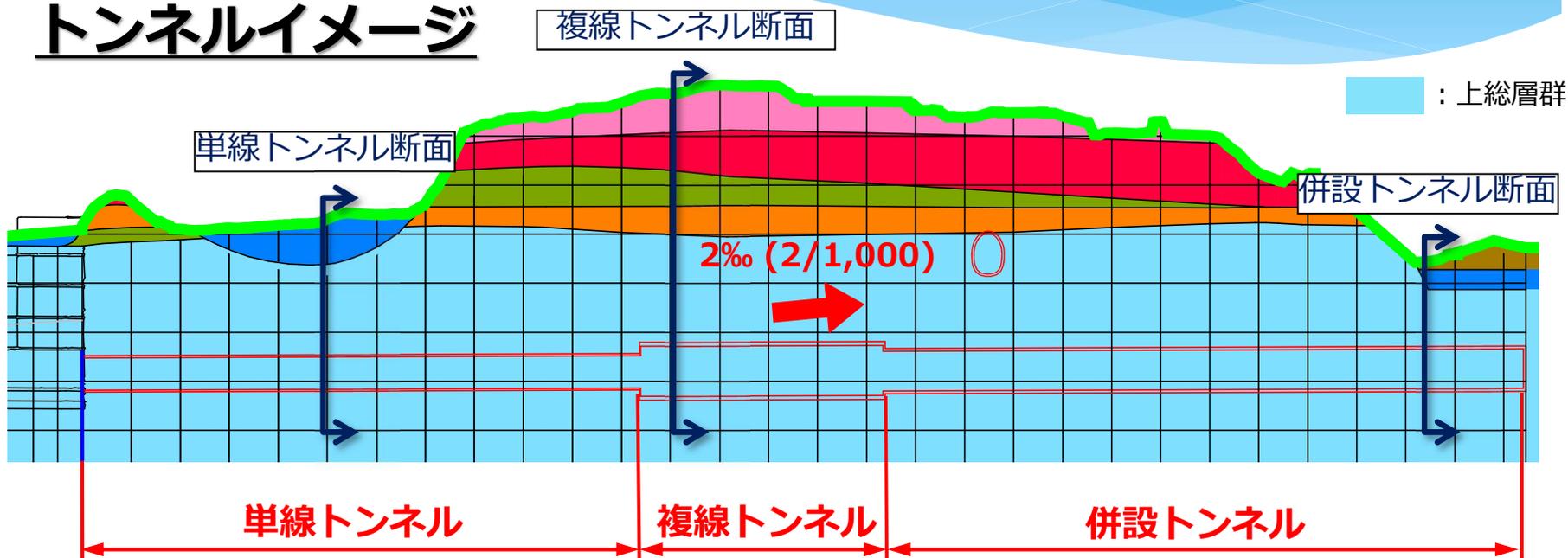


～横坑(換気坑)～
幅約10m×高さ約10m

～給気坑～
幅約6m×高さ約5m

3 事業の内容

トンネルイメージ



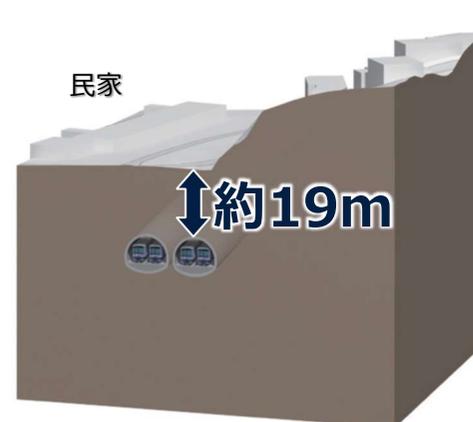
単線トンネル断面



複線トンネル断面

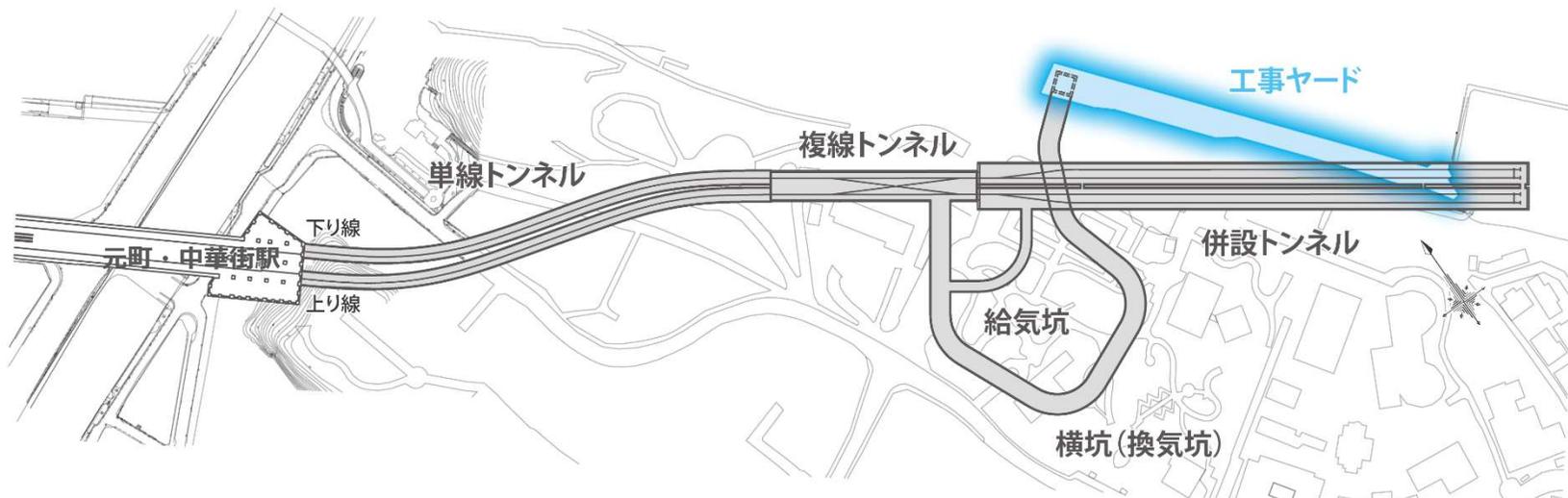


併設トンネル断面



4 工事の状況

工事実施状況



防音ハウス全景

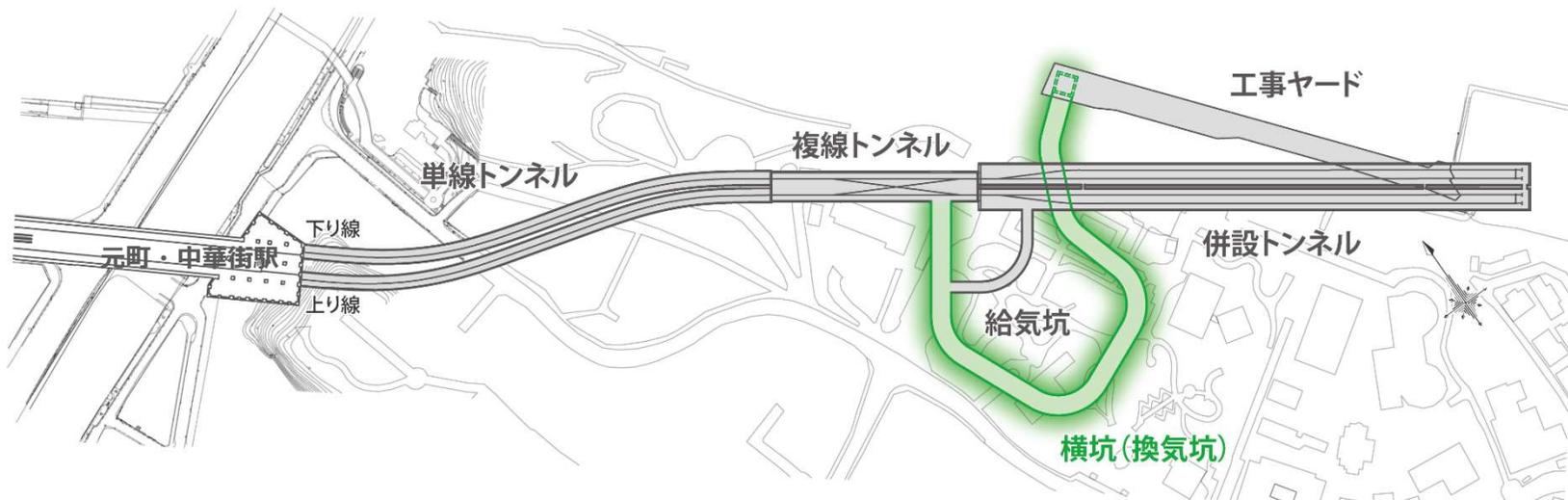


防音ハウス内部



4 工事の状況

工事実施状況



トンネル掘削状況



コンクリート吹付状況



5 今後の予定

事業認定手続きの流れ

本日

説明会の開催



事業認定の申請

- 説明会后、事業認定の申請



申請書の公告・縦覧

- 中区役所にて申請書の公告・縦覧



事業認定の告示

- 告示后、神奈川県収用委員会へ裁決申請が可能

本日は、お忙しい中、説明会にご出席いただきありがとうございます。

引続き、本事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。

